

横浜市全18区版

2024年度 家庭でできる脱炭素行動 アンケート集計結果報告

(期間 2024年4月～2025年3月区民まつりデータ使用)

2025年4月30日



1. アンケート用紙

大人

「なにからやろう」 Ver.8

～家庭でできる脱炭素行動！～

★既に実施している場合は「やっている」欄に○印、
★今後も実施しない場合は×印
★持っていない(利用していない)場合は—
★特に力をいれて取り組んでいる場合は◎



対象	取組み項目	1年間のCO ₂ 削減	1年間の節約金額	やっている
① エアコン	暖房(エアコン)を1時間/日 短縮	18.3 kg	1,460円	
	冷房を1時間/日 短縮(28℃設定)	8.5kg	680円	
	省エネタイプに変更(10年前の型と比べると)	82.3kg/台	6,560円	
	エアコンのフィルターを1～2回/月 掃除する	14.4 kg	1,150円	
② 照明	一般電球から電球型LED照明に変更	27.2kg/個	2,870円	
	冷蔵庫にものを詰め込まず半分程度に	19.7kg	1,570円	
③ 冷蔵庫	冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」に(周囲温度22℃)	27.8kg	2,220円	
	省エネタイプに変更(10年前の型と比べると)	62kg/台	4,960円	
	テレビを見る時間を1時間/日短縮(32V)	7.6kg	610円	
④ テレビ	使用時間を1時間/日 短縮(デスクトップ)	14.2 kg	1,130円	
⑤ パソコン	家庭と外食の食品ロス(廃棄・食べ残し)がゼロ	5.4kg/人	8,900円	
⑥ 食品	地産地消(神奈川県産の物を意識して購入する)	—	—	
	電気自動車(通常の電力で充電)	610 kg/台	75,000円	
⑦ 乗物	運動・通学を自動車からバス・電車・自転車に置き換え(5km未満)	161.8kg/人	11,800円	
	太陽光パネルの設置	9,120kg/世帯	53,200円	
⑧ 再エネ	どちらかに○印	—	—	戸建て 集合住宅
	再エネ電気に切り替え			

★「横浜市地球温暖化対策実行計画」を知っていますか？ どちらかに○印

・2050年の排出ゼロに向けて国際社会全体で取り組んでいる	知ってた	知らなかった
・2050年の横浜の将来像は「Zero Carbon Yokohama」	知ってた	知らなかった
・7年後、2030年の温室効果ガス排出量の目標は2013年比で「50%」	知ってた	知らなかった

住所: 横浜市 _____ 区(横浜市以外の方→神奈川県 市・町、その他 _____)

性別: 男性 女性 _____

年齢: 20歳未満 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上 _____

ご協力ありがとうございました。 横浜市地球温暖化対策推進協議会

子ども

(横浜市地球温暖化対策推進協議会)

ためしてみよう！ストップ温暖化！

「やっています」「やります」シート

★すでにとりこんでいることは○、これからチャレンジすることは△をかこう！

対象	取組み項目	削減効果 CO ₂ 削減量 (めやす)	節約金額 (めやす)	ここにかこう
テレビ	テレビは時間を決めて見ます	9.3kg	450円	
あかり	使っていない部屋のあかりは、消します	2.4kg	120円	
お風呂	お風呂は、前に入った人と時間をあけずに入ります	87.0kg	8,880円	
シャワー	シャワーを長い間、流したままにしません	29.0kg	3,300円	
洗面	歯みがきのときや顔を洗うとき、水道を出したままにしません	0.8kg	320円	
食べもの	ごはんやおかずは残さず食べます	1.4kg	—	
買ひもの	買ひものときレジ袋をもらいません	13.9kg	1,500円	
乗りもの	近に行くときは歩くか自転車でいきます	32.2kg	2,520円	
太陽光発電	二酸化炭素を出さないことを知っていますか	—	—	

なまえ _____ ニックネームを書いてください！ _____

性別 _____ 男・女 _____

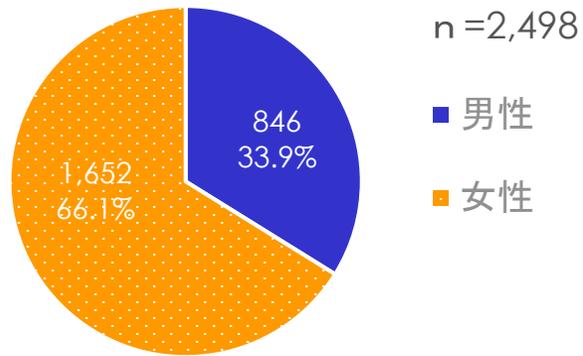
住んでいるところ _____ 横浜市 _____ 区(横浜市以外→神奈川県 市・その他 _____)

学年 _____ 小学校入学前 _____ 小学生(1年 2年 3年 4年 5年 6年 _____)

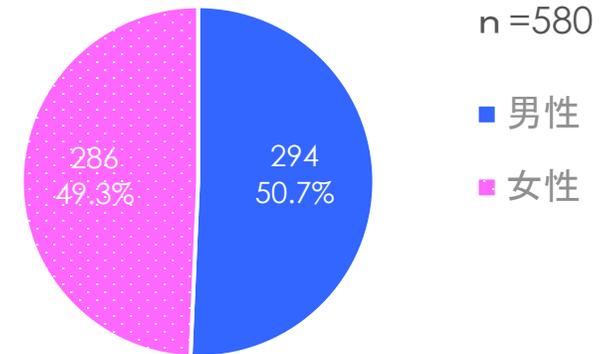


2.性別，年齢・学年の分布

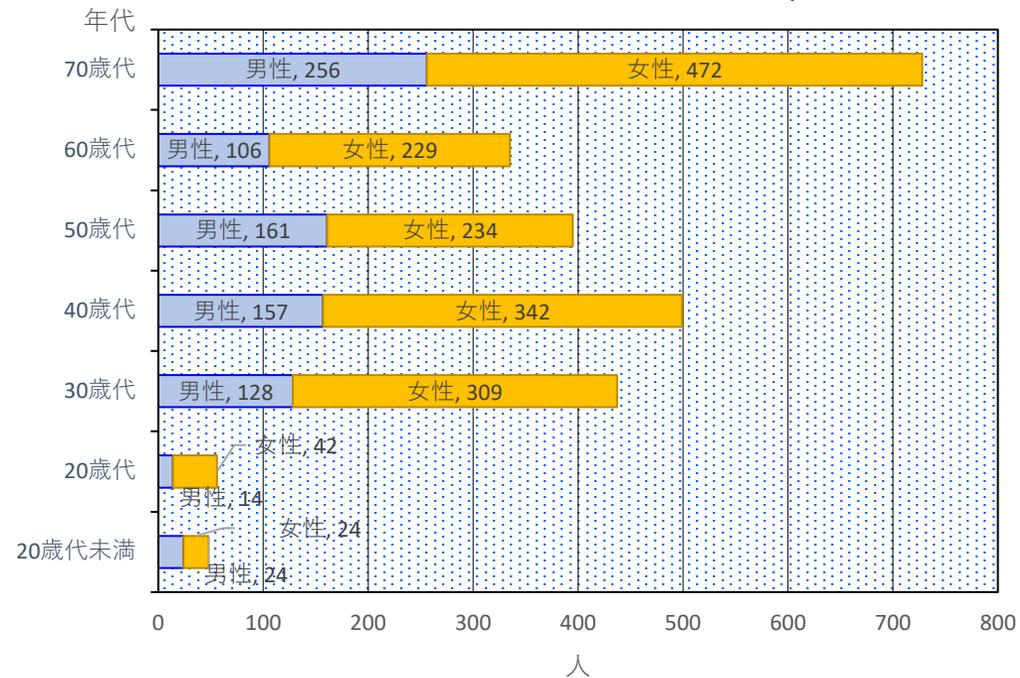
アンケート収集（大人）



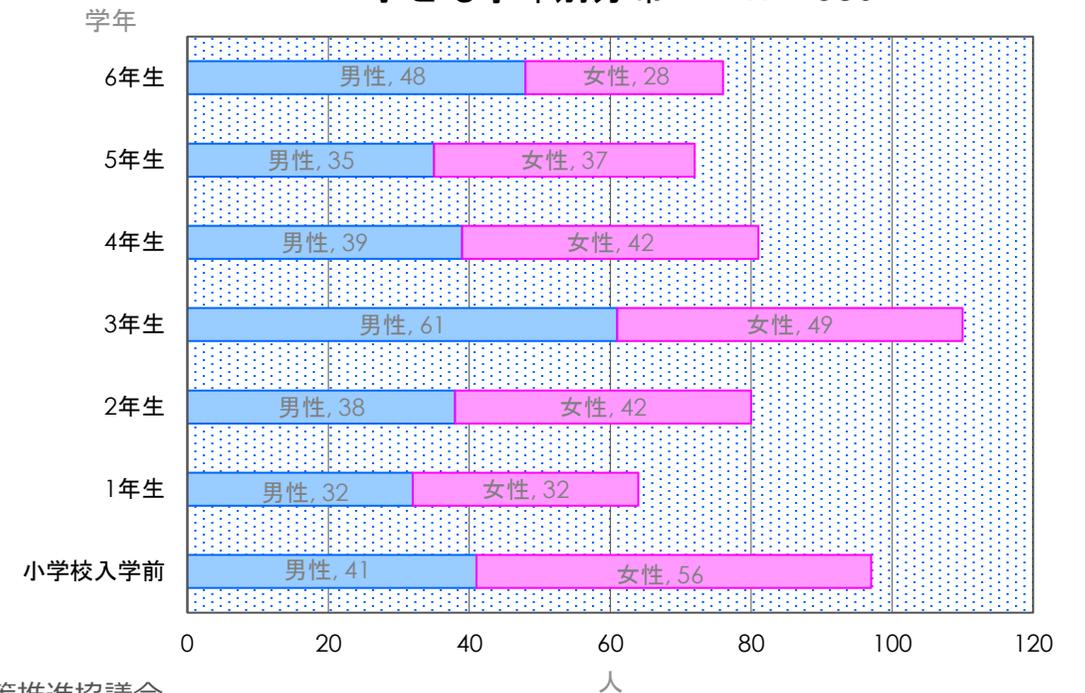
アンケート収集（子ども）



大人年代別分布 n = 2,498



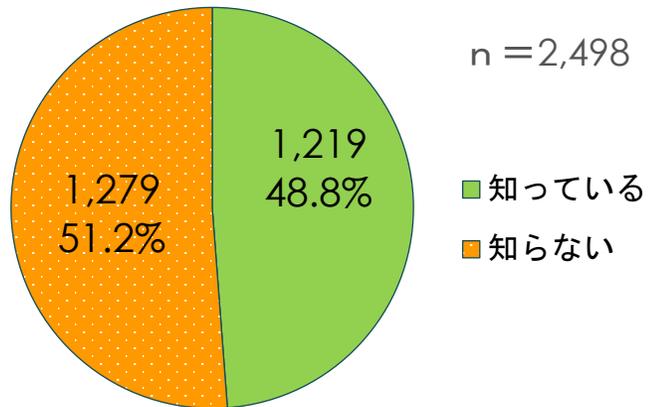
子ども学年別分布 n = 580



3.「温暖化防止の取組み」の認知度

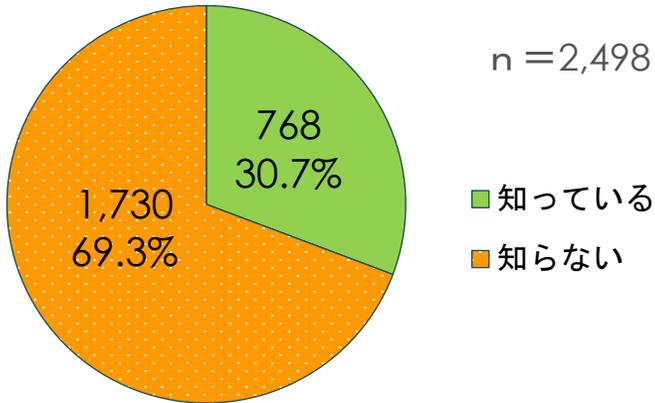
①

2050年国際的取組み



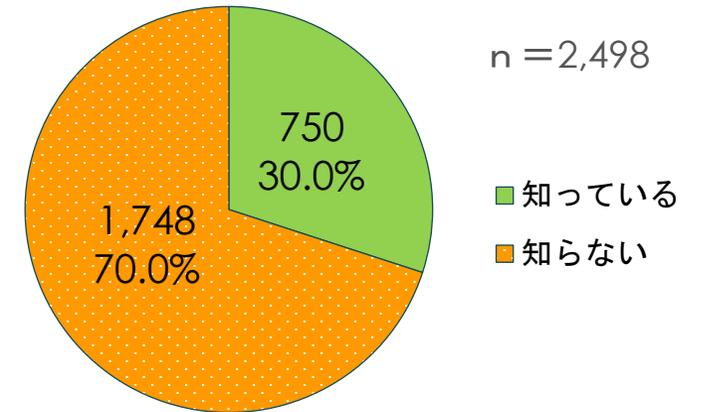
②

横浜の将来像「Zero Carbon Yokohama」



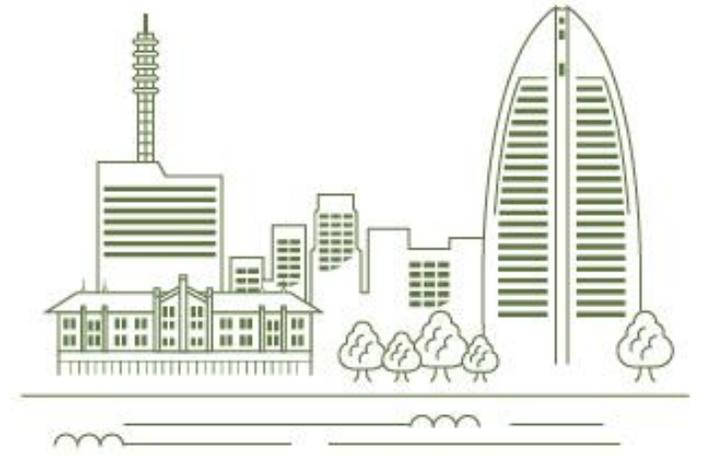
③

2030年温室効果ガス削減目標

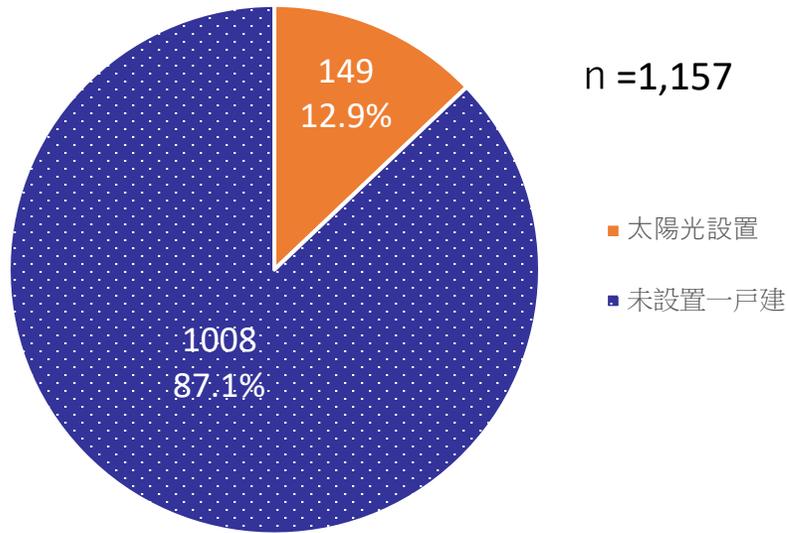


- ① 2050年の排出ゼロに向けて国際社会全体で取り組んでいる
- ② 2050年の横浜の将来像は「Zero Carbon Yokohama」
- ③ 6年後、2030年の温室効果ガス排出削減目標は2013年度比で「50%」

4.太陽光発電の普及状況（横浜市）



太陽光設置戸建て



太陽光発電システム設置住宅形態と普及率

	サンプル数	サンプル比率	設置数	普及率
戸建	1,157	46.3%	149	12.9%
集合	1,341	53.7%	40	3.0%
計(全体)	2,498	100.0%	189	7.6%

環境省「令和5年度 家庭部門の CO2排出実態統計調査 結果について(確報値)」

では戸建て住宅全世帯のうち太陽光システムの使用率**11.7%**

<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/ghg/kateiCO2tokei.html>

令和5年度（2023年度）環境省確報値

戸建	11.7%
集合	0.0%
全体	6.3%

5.アンケートの集計結果一覧「大人」



2024年度区民まつり集計表（大人）

（%は実施率）

対象	男性	女性	1-1エアコン	1-2エアコン	1-3エアコン	1-4エアコン	2照明	3-1冷蔵庫	3-2冷蔵庫	3-3冷蔵庫	4テレビ	5パソコン	6-1食品	6-2食品	7-1乗物	7-2乗物	8-1再エネ	8-4再エネ	温暖化防止取組み知識		
			暖房1時間短縮	冷房1時間短縮	省エネタイプに変更	エアコンフィルター掃除	LED電球に変更	半分収納	設定温度「中」に	省エネタイプ	見る時間1時間短縮	使用時間1短縮	食品ロスゼロ	地産地消	電気自動車	公共交通使用	太陽光パネル設置	再エネ電気切替え	9-1 2050年排出ゼロ国際取組み	9-2 横浜将来像 Zero Carbon Yokohama	9-3 2030年温室効果ガス削減目標 50%
2,498	846 33.9%	1,652 66.1%	1,438 57.6%	1,358 54.4%	1,304 52.2%	1,118 44.8%	1,935 77.5%	1,291 51.7%	1,617 64.7%	1,219 48.8%	1,113 44.6%	957 38.3%	1,590 63.7%	938 37.6%	277 11.1%	1,248 50.0%	189 7.6%	285 11.4%	1,219 48.8%	768 30.7%	750 30.0%
Best			4	5	6		1		2				3								
Worst											6	5		4	2		1	3			
順位			4	5	6	10	1	7	2	9	11	12	3	13	15	8	16	14			

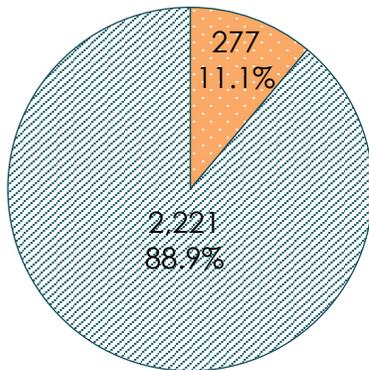
5-1. 大人

低比率項目

Worst 1 太陽光パネル設置 (P5参照)

Worst 2

乗物「電気自動車」

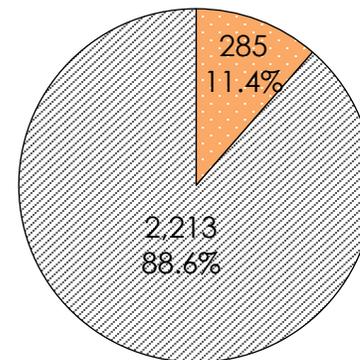


n = 2,498

- 電気自動車
- その他

Worst 3

再エネ電気に切替え

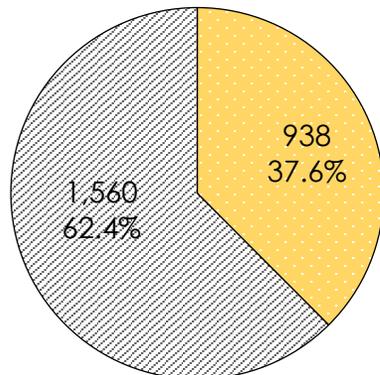


n = 2,498

- 再エネ切替え
- 一般

Worst 4

地産地消

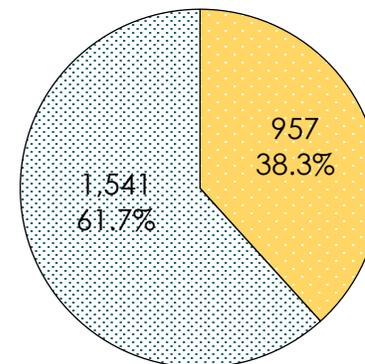


n = 2,498

- 意識して購入
- 特に気を使わない

Worst 5

パソコン使用時間を1時間/日短縮



n = 2,498

- 使用時間短縮
- 通常使用

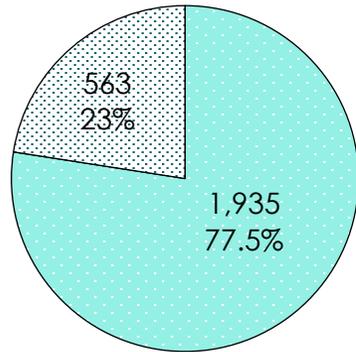
5-2.大人



高比率項目

best 1

従来照明からLED照明に変更

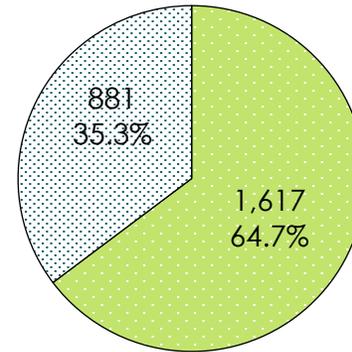


n = 2,498

- LED照明に変更
- 白熱灯・蛍光灯

best 2

冷蔵庫設定温度調整

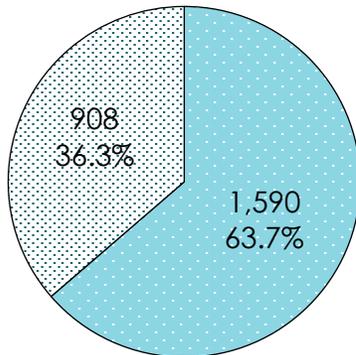


n = 2,498

- 設定温度[強]から[中]に
- 特に変更しない

best 3

食品ロスゼロ

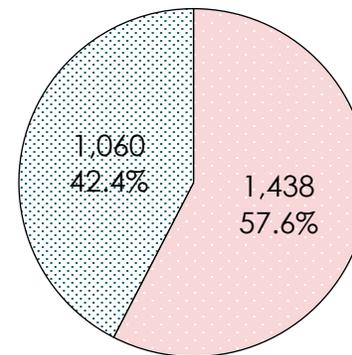


n = 2,498

- 食品ロスがゼロ
- 特に気にして無い

best 4

暖房(エアコン)時間を1時間/日短縮



n = 2,498

- 使用時間短縮
- 通常視聴

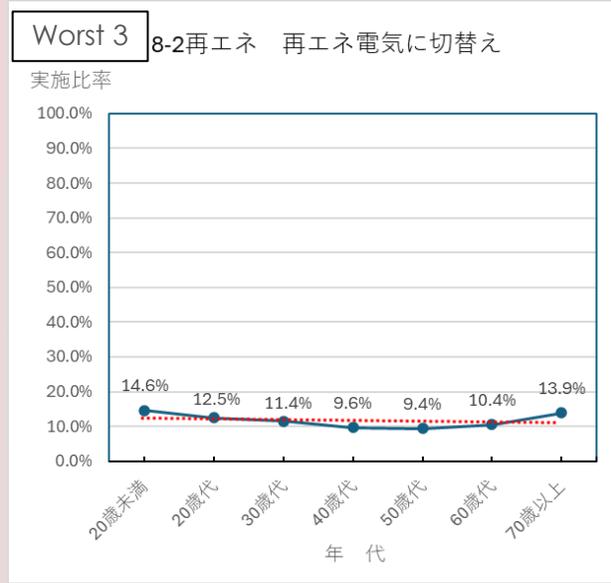
5-3. 「年代別」

低比率項目

注) は近似線



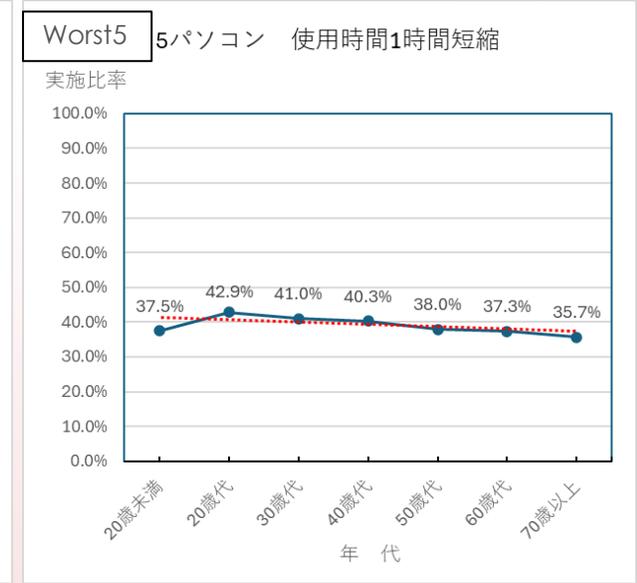
実施率：11.1%



実施率：11.4%



実施率：37.6%

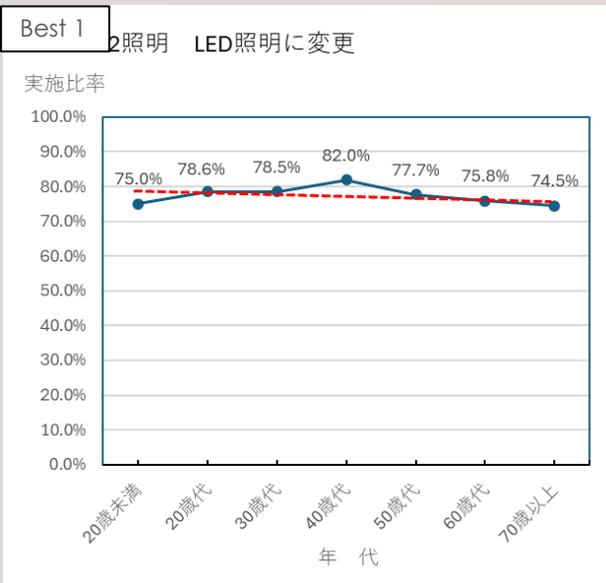


実施率：38.3%

5-4 「年代別」

高比率項目

注) は近似線



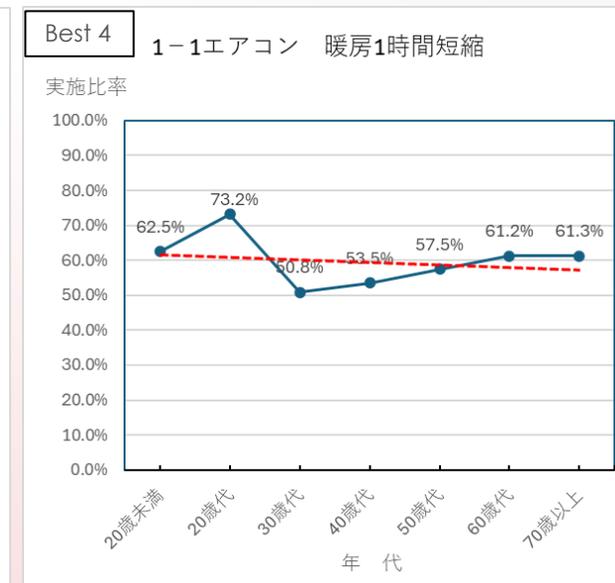
実施率：77.5%



実施率：64.7%



実施率：63.7%



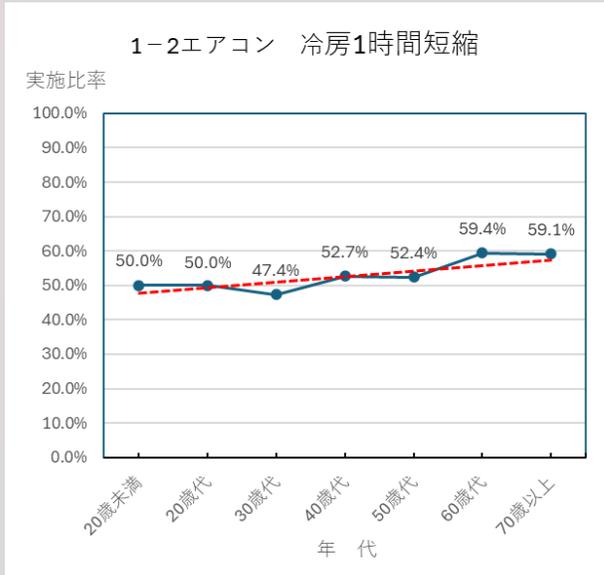
実施率：57.6%

5-5 「年代」

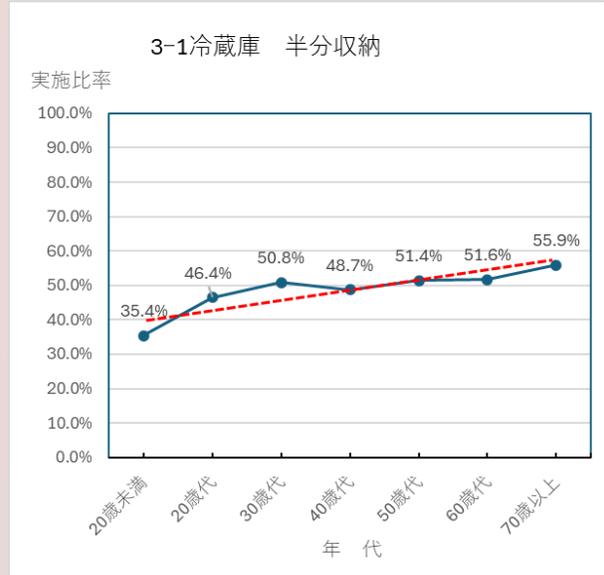


その他

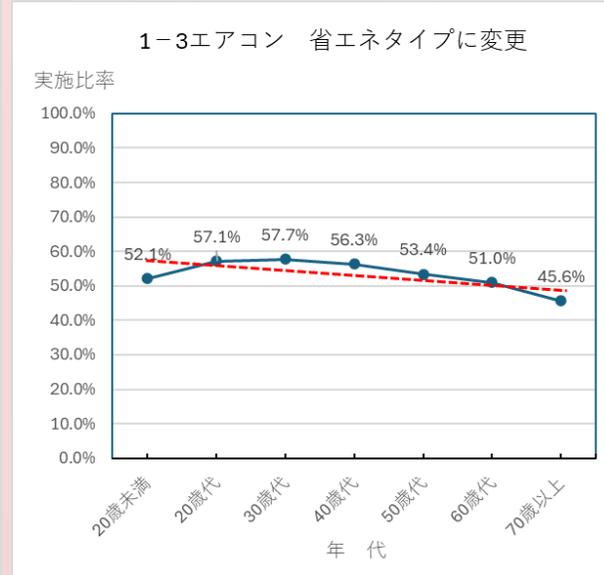
注) は近似線



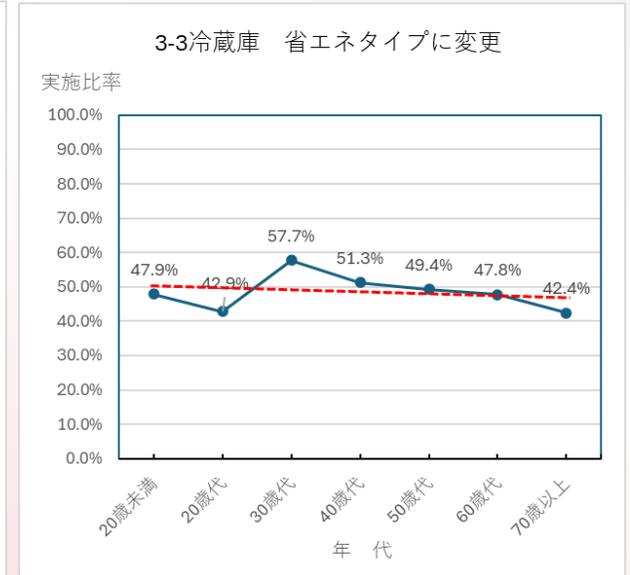
実施率 : 54.4%



実施率 : 51.7%



実施率 : 52.2%



実施率 : 48.8%

6.アンケートの集計結果一覧「子ども」



2024年度区民まつり集計表（子ども）

(%は実施率)

対象	男性	女性	1テレビ	2あかり	3お風呂	4シャワー	5洗面	6食べ物	7買い物	8乗り物	9太陽光発電	備考
サンプル数n			時間を決めて見る	使っていない部屋消灯する	時間を空けず続けて入る	長時間流したままにしない	水道を出したままにしない	残さず食べる	レジ袋をもらわない	歩くか自転車にする	CO2出さないことを知っているか	
580	294 51%	286 49%	247 42.6%	496 85.5%	390 67.2%	455 78.4%	485 83.6%	405 69.8%	488 84.1%	495 85.3%	319 55.0%	
Best				1					3	2		
Worst			1		3						2	
順位			9	1	7	5	4	6	3	2	8	

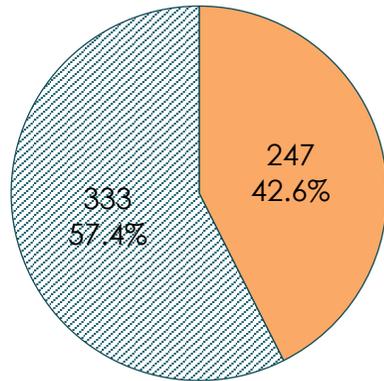
6-1.子ども

低比率項目

Worst 1

テレビの視聴時間

n = 580

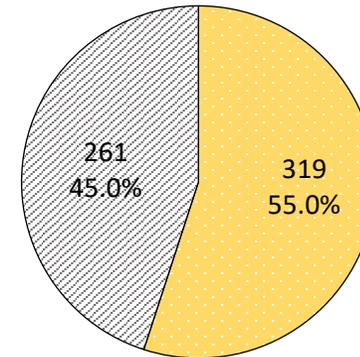


- テレビは時間を決めて視聴
- ▨ 特に設定なし

Worst 2

太陽光発電はCO₂を排出しない知識

n = 580

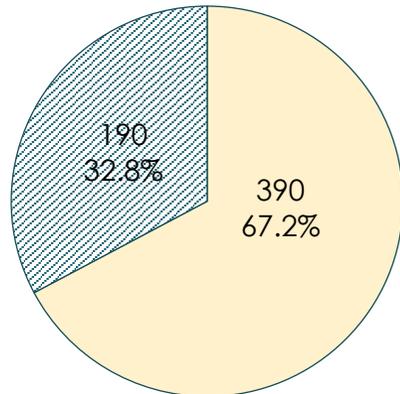


- CO₂を排出しないことを知っている
- ▨ 知らない

Worst 3

お風呂

n = 580

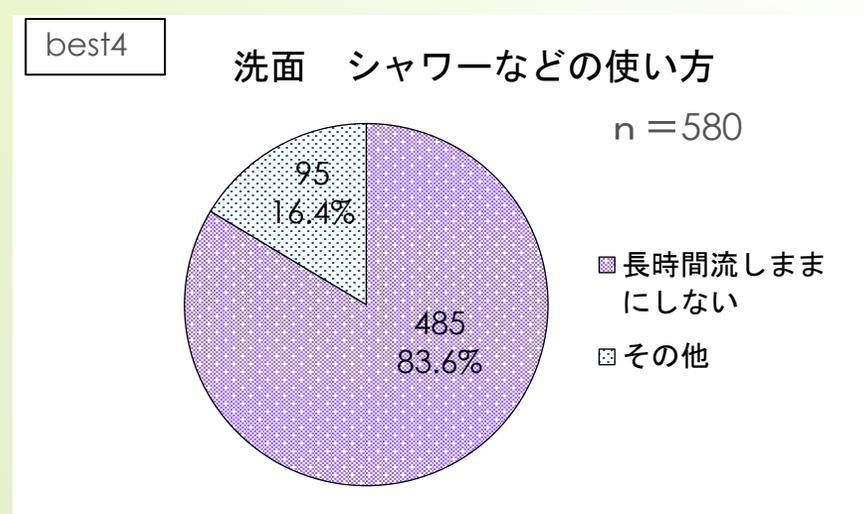
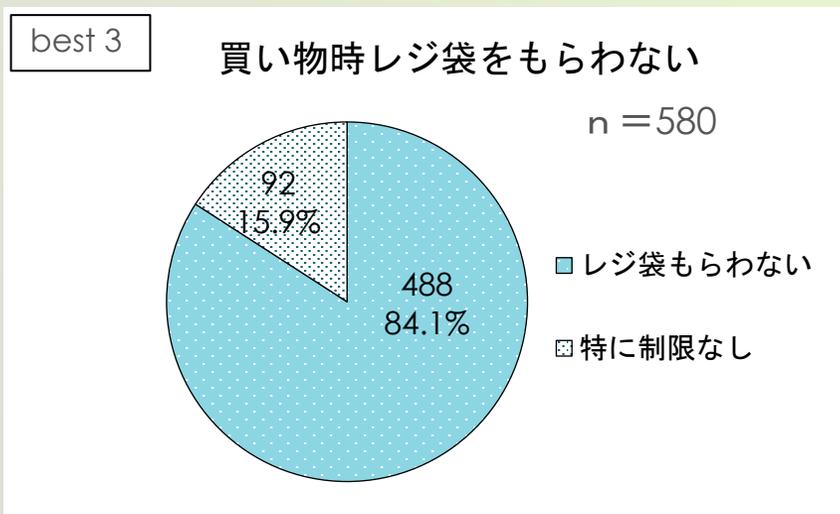
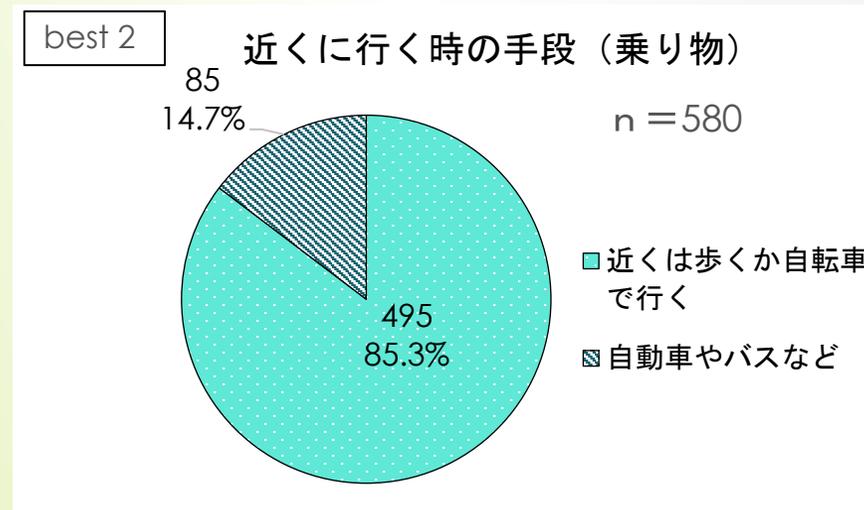
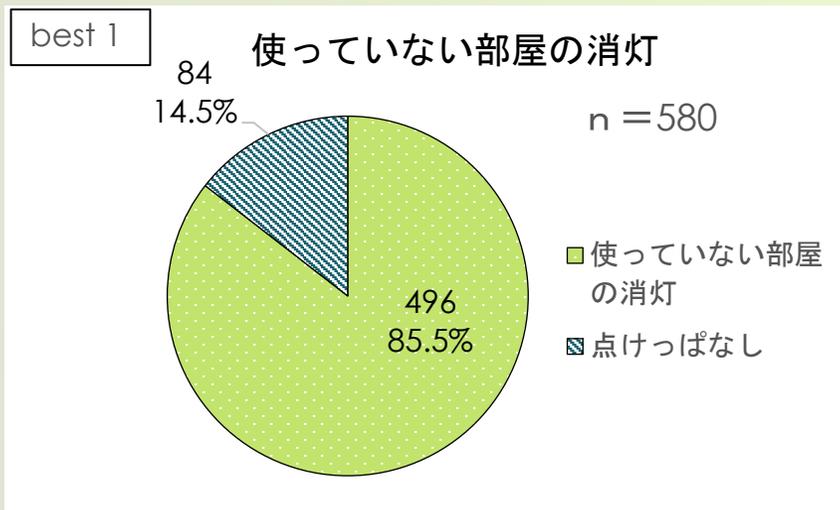


- 時間を空けず続けて入る
- ▨ その他

6-2.子ども



高比率項目



6-3 「学年別」

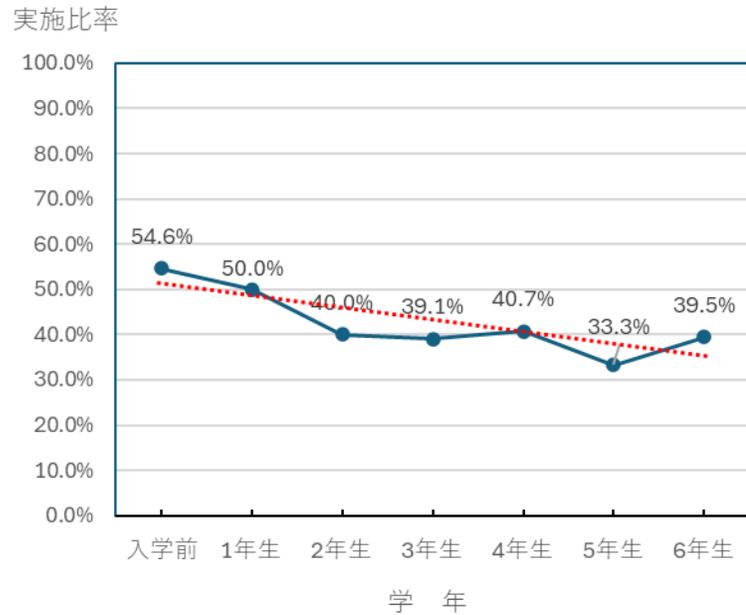


低比率項目

注) は近似線

Worst 1

1 テレビ 時間を決めて見る

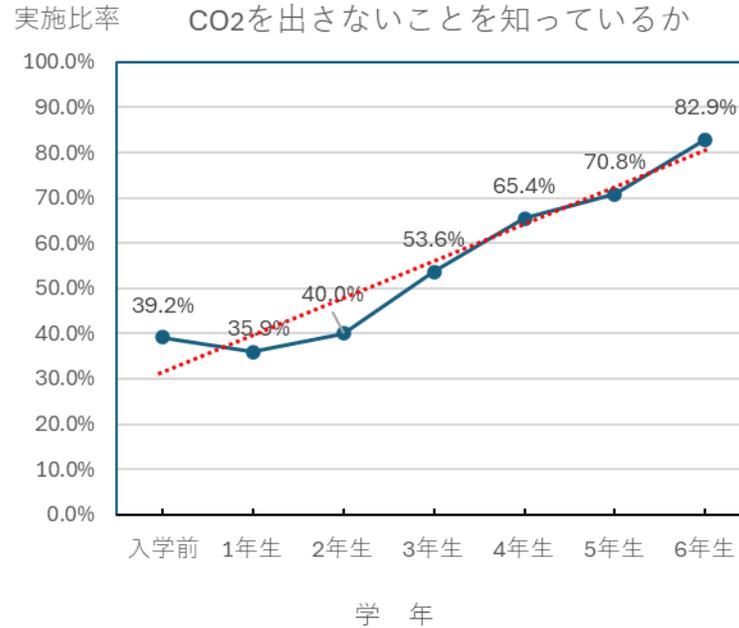


実施率 : 42.6%

Worst 2

9 太陽光発電

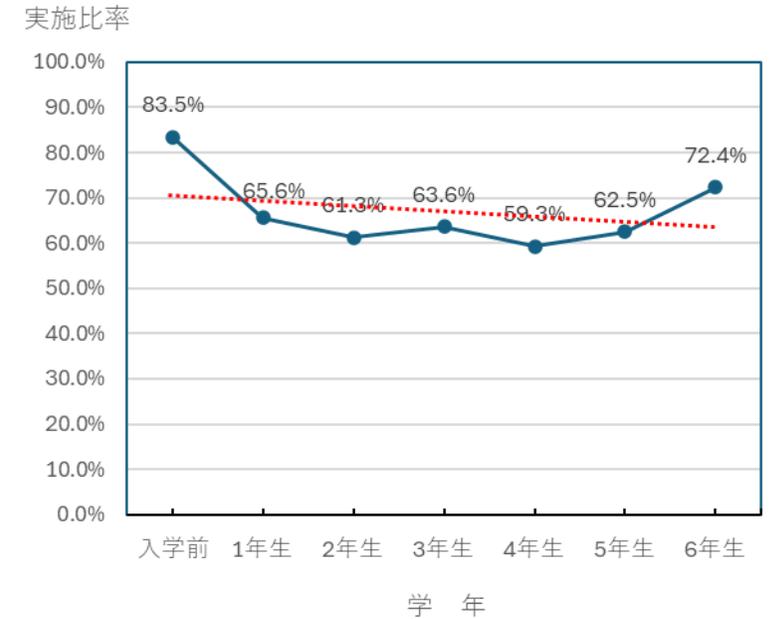
CO2を出さないことを知っているか



実施率 : 55.0%

Worst 3

3 お風呂 時間を空けずに続けて入る



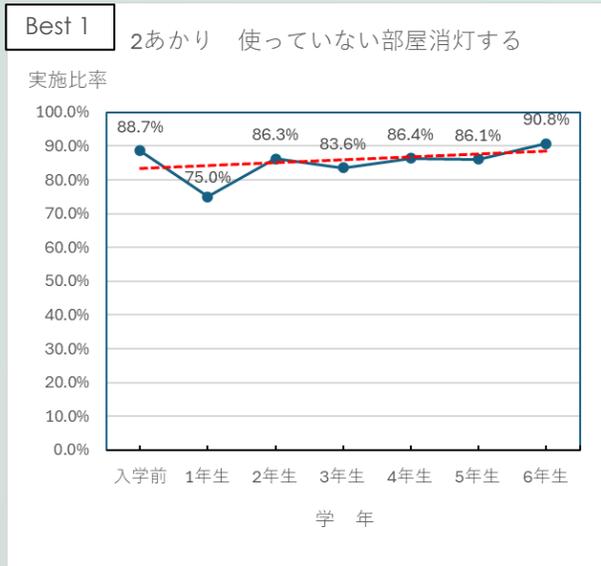
実施率 : 67.2%

6-4 「学年別」

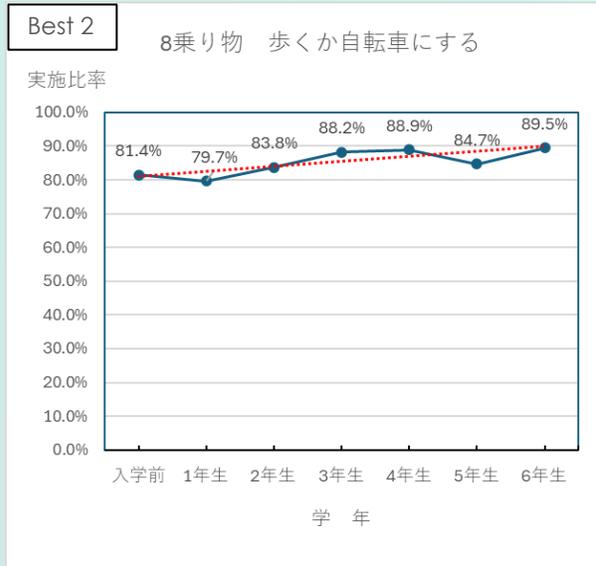


高比率項目

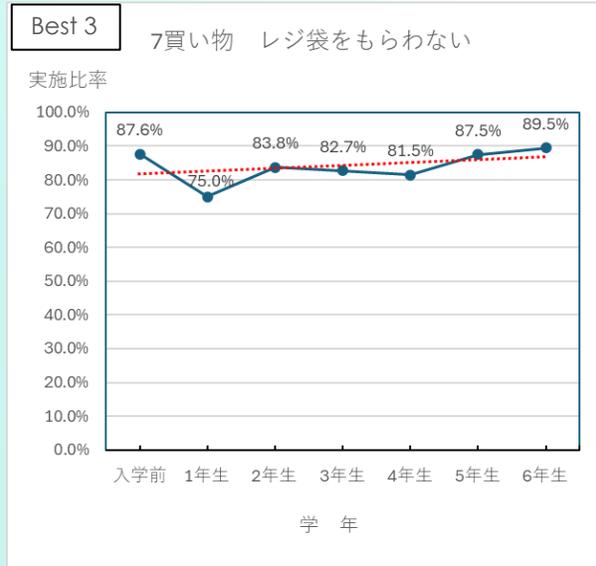
注) は近似線



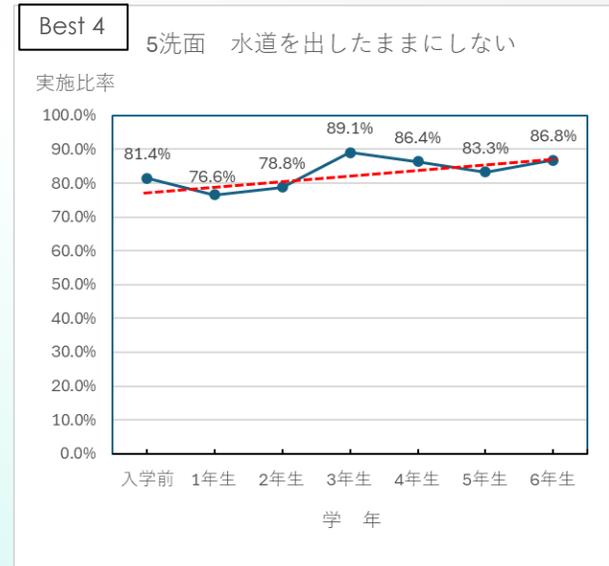
実施率 : 85.5%



実施率 : 85.3%



実施率 : 84.1%



実施率 : 83.6%

7. 年代・学年別階層別分布

7-1. 「年代階層別分布」一覧表

低比率分布表

2024年度区民まつり集計表（大人）

18区版

開催日	年代	対象	男性	女性	1-1エアコ	1-2エアコ	1-3エアコ	1-4エアコ	2照明	3-1冷蔵庫	3-2冷蔵庫	3-3冷蔵庫	4テレビ	5パソコン	6-1食品	6-2食品	7-1乗物	7-2乗物	8-1再エネ	8-4再エネ	温暖化防止取組み知識			備考
					暖房1時間短縮	冷房1時間短縮	省エネタイプに変更	エアコンフィルター掃除	LED電球に変更	半分収納	設定温度「中」に	省エネタイプ	見る時間1時間短縮	使用時間1短縮	食品ロスゼロ	地産地消	電気自動車	公共交通使用	太陽光パネル設置	再エネ電気切替え	9-1 2050年排出ゼロ国際取組み	9-2 横浜将来像 Zero Carbon Yokohama	9-3 2030年温室効果ガス削減目標50%	
	20歳未満	48	50.0%	50.0%	62.5%	50.0%	52.1%	43.8%	75.0%	35.4%	64.6%	47.9%	39.6%	37.5%	68.8%	41.7%	12.5%	58.3%	16.7%	14.6%	45.8%	18.8%	29.2%	-26
	20歳代	56	25.0%	75.0%	73.2%	50.0%	57.1%	39.3%	78.6%	46.4%	50.0%	42.9%	53.6%	42.9%	73.2%	28.6%	3.6%	51.8%	5.4%	12.5%	39.3%	19.6%	23.2%	-38
	30歳代	437	29.3%	70.7%	50.8%	47.4%	57.7%	35.0%	78.5%	50.8%	59.0%	57.7%	43.9%	41.0%	61.8%	31.1%	13.5%	48.7%	8.5%	11.4%	43.7%	23.3%	25.4%	-29
	40歳代	499	31.5%	68.5%	53.5%	52.7%	56.3%	42.7%	82.0%	48.7%	62.1%	51.3%	41.5%	40.3%	58.9%	32.1%	9.4%	50.1%	9.2%	9.6%	42.9%	25.5%	22.6%	-38
	50歳代	395	40.8%	59.2%	57.5%	52.4%	53.4%	50.9%	77.7%	51.4%	66.3%	49.4%	42.8%	38.0%	66.6%	42.5%	10.4%	51.4%	7.3%	9.4%	52.9%	34.2%	30.9%	-38
	60歳代	335	31.6%	68.4%	61.2%	59.4%	51.0%	48.1%	75.8%	51.6%	65.4%	47.8%	40.9%	37.3%	68.7%	39.4%	13.4%	52.8%	5.7%	10.4%	52.5%	37.3%	34.0%	-29
	70歳以上	728	35.2%	64.8%	61.3%	59.1%	45.6%	47.7%	74.5%	55.9%	69.9%	42.4%	49.3%	35.7%	63.0%	42.0%	10.6%	47.8%	6.5%	13.9%	52.9%	35.6%	36.1%	-23
	全体	2,498	33.9%	66.1%	57.6%	54.4%	52.2%	44.8%	77.5%	51.7%	64.7%	48.8%	44.6%	38.3%	63.7%	37.6%	11.1%	50.0%	7.6%	11.4%	48.8%	30.7%	30.0%	-24

凡例

- 30～40%未満 -1点
- 20～30%未満 -3点
- 10～20%未満 -5点
- 10%未満 -10点

7-2. 「学年階層別分布」一覧表



低比率分布表

2024年度区民まつり集計表（子ども）

18区版

開催日	学年	対象	男性	女性	1テレビ	2あかり	3お風呂	4シャワー	5洗面	6食べ物	7買い物	8乗り物	9太陽光発電	備考
		サンプル数n			時間を決めて見る	使ってない部屋消灯する	時間を空けず続けて入る	長時間流したままにしない	水道を出したままにしない	残さず食べる	レジ袋をもたらない	歩くか自転車にする	CO2出さないことを知っているか	点数
	入学前	97	42.3%	57.7%	54.6%	88.7%	83.5%	72.2%	81.4%	63.9%	87.6%	81.4%	39.2%	-8
	1年生	64	50.0%	50.0%	50.0%	75.0%	65.6%	68.8%	76.6%	54.7%	75.0%	79.7%	35.9%	-11
	2年生	80	47.5%	52.5%	40.0%	86.3%	61.3%	73.8%	78.8%	53.8%	83.8%	83.8%	40.0%	-9
	3年生	110	55.5%	44.5%	39.1%	83.6%	63.6%	81.8%	89.1%	76.4%	82.7%	88.2%	53.6%	-8
	4年生	81	48.1%	51.9%	40.7%	86.4%	59.3%	85.2%	86.4%	69.1%	81.5%	88.9%	65.4%	-6
	5年生	72	48.6%	51.4%	33.3%	86.1%	62.5%	84.7%	83.3%	79.2%	87.5%	84.7%	70.8%	-8
	6年生	76	63.2%	36.8%	39.5%	90.8%	72.4%	81.6%	86.8%	89.5%	89.5%	89.5%	82.9%	-5
	全隊	580	50.7%	49.3%	42.6%	85.5%	67.2%	78.4%	83.6%	69.8%	84.1%	85.3%	55.0%	-6

凡例

	40～60%未満	-3点
	20～40%未満	-5点
	20%未満	-10点

8.結果・評価

(1) 性別、年齢・学年の分布 (P3参照)

大人のアンケート取得比率は女性66.1%、男性33.9%で**女性が全体の約2/3**を占め偏りがあるが、**子ども**は男子50.7%、女子49.3%と**男女共にほぼ同率**でバランスがとれている。

大人のアンケート**取得年代構成**については、**20歳代以下**が約4%と**極めて少なく**、**70歳以上**が全体の約30%と**突出**しアンバランスとなっている。

区民まつりは若者達に対し魅力をそそる催しが乏しいと思われ今後も増加が見込めないことから、20歳未満及び20歳代のアンケート取得率増大対策として、高校生・大学生の集まる学園祭等への参加を検討する必要がある。

(2) 「温暖化の取組み」の認知度 (P4参照)

「2050年排出ゼロへの**国際的取組み**」認知度48.8%に対し、横浜市が推進する「2050年**Zero Carbon Yokohama**」の認知度は30.7%と**国際的取組みの6割程度¹⁾**になり、昨年度より改善されているが十分とは言えない。更に**継続的な広報活動を行う必要**がである。

例えば、毎月各家庭に配布される「広報よこはま」等に掲載すれば、宣伝効果は大きいと思われる。

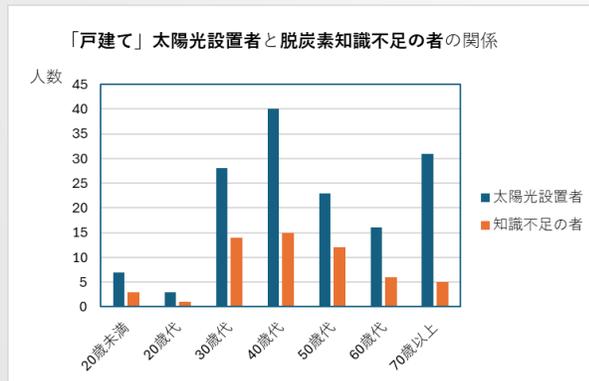
1) $p=0.0567$ + ($.05 < p < .10$) 正確二項検定により有意な違いは無いが、有意水準5%をかりうじて超えた程度であり、決して楽観できる数値ではない。なお、2023年度は $p=0.0042$ ** ($p < .01$) 極めて有意な違いがあった。

(3) 太陽光発電の普及状況 (P5参照)

アンケートによる**横浜市**の太陽光発電システム設置**戸建て**住宅は**12.9%**であり、最新の環境省**全国平均11.7%**²⁾ (環境省R5年度年度調査確報値)と比較すると、**横浜市は全国平均を少し上回っている**と推測される。

また、**集合住宅**での太陽光設置普及率は2023年度の0%から**約3%**に上昇し、マンション等への設置が進んでいるように思われる。

しかし、太陽光発電システム設置**戸建て**住宅所有者大人148人の内51人(**37.8%**)が「**温暖化防止の取組み**」の認知度調査で、「①2050年国際的取組み、②横浜の将来像Zero Carbon Yokohama、③2030年温室効果ガス削減50%」の**全てを知らない**と回答している。



← 30歳代と50歳代の
50%以上が知識不足

電気代節約など経済面に注目した購入者や他地域からの転入者が必ずしも脱炭素に関心があるとは限らない。

例) 太陽光設置付き建売住宅群



最近では、**新築・中古を問わず太陽光設備付き戸建て住宅販売が加速していることから、新規住宅購入者が脱炭素に関心を持っているとは限らないことも一因と考えられる。**

太陽光システムを設置している住宅所有者が脱炭素意識が高いと考えることは、私たちが抱いているステレオタイプのように思われる結果となった。

²⁾環境省R5年度(確定値)は、例年一年度遅れの発表となっている。

(4) アンケートの集計結果

1) 大人 (P6~11参照)

アンケート16項目中実施率の悪い順番は、Worst1太陽光パネル設置(実施率7.6%)、W2電気自動車(11.6%)、W3再エネ電気に切替え(11.4%)、W4地産地消(37.6%)、W5パソコン使用1時間短縮(38.3%)、W6テレビ視聴時間1時間短縮(44.6%)となっている。

太陽光パネル設置や**電気自動車**については、費用がかかるうえ、日当たりが悪いあるいは年間走行距離が極めて短い等の家庭事情により**誰でも容易に実施可能な項目ではない**ため改善が難しい。

また、**再エネ電気切替え**も、従来電気からの**変更手続き等に手間**がかかるため高齢者や繁忙者の負担となるうえ、従来電気に対し**若干割高になる場合もある**ので敬遠される要因となっている。

しかし、**地域生産地域消費**は、農作物などを生産地から消費地までの輸送時に内燃機関から排出される**CO₂排出量削減に大きく寄与**するためメリットが大きい。

また、**地産地消**や**テレビ視聴時間1時間短縮等**は費用もかからず、私たち一人ひとりが意識さえすれば**比較的容易に実施可能な項目**であるので、今後、当協議会では、Yokoyama Go greenと併せてこれらを重点項目としてPRに力を注いでしてゆきたい。



(P6参照)

[個別項目]

「電気自動車」「再エネ電気への切替え」はどちらも11%強程度とどまっている。
また、各世代間もほぼ一定で大きな変化が見受けられない。(P9参照)

しかし、**2023年度**では充電設備の設置の必要から**電気自動車**保有者は**戸建て**住宅者が**ほぼ100%**であったが、**2024年度**では、保有者277人の内、132人(47.7%)が**集合住宅**という結果となった。充電設備付きマンション等や近隣に充電ポストが普及してきてた結果であると思われ、今後の保有率上昇が期待される。

全項目を**年代別**に見ると実施率では**20歳代、40歳代、50歳代**が**低調**である。(P17参照)

() 内比率は全世代総合実施率

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ①若年層から高齢層に向い実施率が「上昇または上昇傾向」項目 | ②若年層から高齢層に向い実施率が「下降または下降傾向」項目 |
| 1-2エアコン 冷房1時間短縮 (54.4%) | 1-3エアコン 省エネタイプに変更 (52.2%) |
| 1-4エアコン フィルターの掃除 (44.8%) | 2 照明 LED照明に変更 (77.5%) |
| 3-1冷蔵庫 半分収納 (51.7%) | 3-3冷蔵庫 省エネタイプに変更 (48.8%) |
| 3-2冷蔵庫 設定温度「中」にする (64.7%) | 6-1食品 食品ロスゼロ (63.7%) |
| 6-2食品 地産地消 (37.6%) | 7-2乗り物 公共交通の使用 (50.0%) |
| 9-1~3 温暖化防止の取組み (48.8~30.0%) | |

その他項目は横ばいである。

2) 子ども (P12~16参照)

全体的に脱炭素行動意識が高く、**実施率も高い**。

高学年になるほど、学校や家庭での教育・指導が行き渡り、**身につけている**ように思われる。

しかし、「テレビの視聴時間取り決め」や「お風呂に時間を空けず続けて入る」などは学年が上がるほど低下する傾向が見受けられことは憂慮すべき点である。

全項目を**学年別**に見ると実施率では**1年生、2年生に低い傾向**が見受けられる。(P18参照)

() 内比率は全学年総合実施率

- ①低学年から高学年に向かって「知識率または実施率に著しい上昇」が認められる項目
「9 太陽光発電でCO₂を出さないことを知っているか」 (55.0%) 30%代→80%代へ
「6 食べ物を残さずに食べる」 (69.8%) 50%代→約90%代へ
- ②ほぼ定着している項目 (全体実施率80%代)
「2あかり 使っていない部屋は消灯する」 (85.5%)
「5洗面 水道を出したままにしない」 (83.6%)
「7買い物 レジ袋をもらわない」 (84.1%)
「8乗り物 近くに行くときは歩くか自転車にする」 (85.3%)
- ③低学年から高学年に向かって「実施率が低下傾向」の項目
「1テレビ 時間を決めて見る」 (42.6%)
「3お風呂 時間を空けずに続けて入る」 (67.2%) ※中だるみ傾向

参考) 調査目的・方法

(1) 目的

横浜市民の省エネ・脱炭素に対する意識の現状を把握するためアンケート調査を実施し、今後の横浜市地球温暖化対策推進協議会の活動計画に活用することを目的とした。

(2) 調査者

協議会会員が主体となり区民まつりにて実施した。協働団体として、ブルーアース、ソフトエネルギープロジェクト、アースgreen 鶴見、太陽光発電所ネットワークほどがや、グリーンパワーファクトリー、資源循環公社、戸塚エココーディネーター、大川印刷、熊野の森もろおかスタイル、横浜カモメ情報局(横浜国立大学学生グループ)のメンバーが協力

(3) 主な調査場所

各区で開催される区民まつり等会場の出店ブース

(4) 調査資料

大人及び子ども用アンケート用紙による

(5) 手続き

協議会で集計・結果分析



YOKOHAMA **GO GREEN**

YOKOHAMA GO GREENとは
横浜の環境や生き物を守り、みんなで**環境にやさしい**
行動を進めるための合い言葉です。